

令和3年度（2021年度）活動方針

基本的には2021年度の活動は当分の間、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学からの要請に従い対面活動は極力控える。実施の際は、国/都の要請に従い、三密を避けるなど感染防止に努める。特に屋外活動に関しては各同好会にて安全を旨とした実施マニュアルを策定の上、実施の方向を研究する。またオンラインなどのリモート活動の活用を図る。なお4、5月等の緊急事態宣言期間中のイベントや同好会活動は全面的に控える。6月以降もこの基本方針は継続する。宣言が解除された場合の活動は国・自治体等の指針に従い、対面活動等は十分な注意と感染対策の徹底を図り、併せてインターネットや書面などを活用する。

1. 活動基本方針

[基本方針]

コロナ禍の為に十分な活動実施は難しいが、創意工夫を図り交流促進に努める。

1. 会員の増員と同好会活動の実施可能性の研究。
2. 創立50年記念事業として記念誌発行及びイベントの立案。
3. 「地域と共に、早稲田と共に」をモットーに、引き続き地域交流活動の促進。
4. コロナ禍でのコミュニケーションツールとして、HP、会報、メールマガジンの更なる活用と双方向コミュニケーションの促進。
5. 大学本部、地域稲門会、関連団体等との連携活動の促進。

[活動施策]

1. 校友会本部提供名簿/宛名シールを活用し、入会勧誘キャンペーンを実施する。
2. 同好会活動は大学よりの自粛要請を遵守し、リモート活動等を採用する。屋外活動はコロナ感染防止策を講じ、実施可能な活動マニュアルを作成し開催を試行する。
3. 50年記念誌編集委員会及び記念事業委員会の開催と委員の増強で、大筋を年内に纏める等、諸課題に対応する。
4. 記念誌発行に際し会員全員からの寄稿を頂き、交流の機会増と更なる会の拡充に繋げる。
5. 「第10回国分寺寄席」については実施可能性の研究をしておく。
6. ホームページ/メルマガについては意見具申やコメント等を通じ会員/閲覧者との相互遣り取りを促進する。
7. 会報は編集責任者の交替と編集方針の再構築等を図る。昨年に続き臨時号を発行する。
8. 稲門祭、大学催事の協力と連携、近隣稲門会、三田会等とのコラボレーションを促進する。

2. 同好会活動方針の概要

(1) ゴルフ同好会

コロナ対応、感染防止を軸に別途策定の開催マニュアルに則り宣言解除後の環境をみて、競技主体でゴルフ会を開催する。

また会員・近隣稲門会、三田会との交流、懇親を鑑み早慶対抗戦などの開催研究をする。

*開催マニュアルについてはコロナ禍の拡大、変異株の拡大などの環境変化を鑑み、逐次改正などに留意する。(各同好会共通)

(2) ボーリング同好会

現在活動は休止中である。

従来は東大和にて毎月2回早朝ボーリングを開催していたが、参加者が減員傾向であり活動復活は現在検討中である。その際は記録よりも健康第一を目標に家族や女性の新規参加を目指す。

(3) 麻雀同好会

依然としてコロナ禍が続き、三密回避など難しい状況にあり開催は自粛している。

従来は例会を年6回、他に近隣8市対抗合同大会などの競技を通じ/懇親/交流を図ってきた。

愛好家も多いのでコロナ禍の収束具合をみて感染防止策等強化の上、再開を模索している。

(4) グルメ・作って食べよう会

春、秋2回、日頃厨房に入る機会の少ない会員が料理に挑戦し、作って、食べ、飲む、懇親の会であり、偶にはグルメ評価の高い人気の店での会食も企画したがいずれもコロナ禍で休止している。

宣言解除後は国、都の規制を遵守して再開を期したい。

(5) カラオケ同好会

毎回20名以上が参加する同好会であるが、現在は残念ながら休止している。歌とお酒と懇談の場・所謂「稲門サロン」としての活動/存在意義などに加え、声を出し歌うカラオケの効能・ストレス解消、老化防止、高齢者の健康維持を鑑み、国や都の規制解除後には早期の再開を目指したい。

(6) 国分寺サロン

現在は活動を休止している。これまでは主会場を校友がオーナーの300年古民家「リトルプレイハウス」にて、内外の話題/趣味/コンサートなど専門家を招き、ワインとビンテージ紅茶で楽しんでいた。コロナ禍の早期収束を願い、年末の再開を目指したい。

併せて本会の常設サロンとして、会場や開催日等を固定した定例化を具体的に検討したい。

(7) 町歩きの会

現在活動は自粛しているが、緊急事態宣言解除後には、屋外の行事であり三密を避け、ディスタンスを守り、コロナ感染防止を遵守して計画したい。まずは近場の名所を訪ねて歩くこととし、ハイキング同好会もジョインしてもらい実施したい。

(8) 国分寺句会：

現在コロナ禍にも毎月休むことなくテレワーク句会として、メール、FAX、郵送などを活用して開催している。その概要は毎月初に実施案内を発信、10日迄に投句、20日迄に選句、22日頃までに纏めて結果報告。後日報告書(別刷り葉)を作成し全員に配布している。窓口幹事は主に吉松、講師は安西 篤さん(結社「海原」主宰・国分寺稲門会会員)で運営している。

(9) ハイキング愛好会

幹事二人が共に体調面の問題で幹事役が務まらない状況になり、活動を休止していた。

新年度に入り、中島 巖、山岸信雄が幹事に就任、新しい体制で運営することとなった。

従来の開催例は春・秋2回の開催。心身のリフレッシュと懇親を目的に手軽な散策、ウォーキングなど無理のないコースを2～3時間歩き、昼食後解散していた。

*スキー愛好会：現在休会中

3. 総会・稲穂祭(忘年会)その他

- (1) 第49回総会：6月6日（日）国分寺市労政会館 13：30～ 予定は中止。
第2回役員会にて満場一致で承認された議事案件については登録会員宛てに事前にメールなど送信し、賛否を確認頂くこととした。
- (2) 「第10回国分寺寄席」年内の開催可能性を研究しておく。
- (3) 稲穂祭（忘年会）：12月上旬開催を念頭に研究する。
- (4) その他企画はコロナウイルス問題の収束状況を鑑みて随時実施の検討をする。

4. 広報・その他

- (1) 会報：従来通り年2回、春号5月、冬号11月、12ページ建て、フルカラーで発行する。
臨時号として昨年に続き「こくべじ (kokuvege) 特集号」として今秋に発行予定。
編集責任者は清水元から山岸信雄へ交替する。
編集については継続性を維持、編集内容はマイナーチェンジとする。また新しい委員の参加と、新規投稿歓迎で多くの会員の参加を促す方針。
- (2) ホームページ：随時更新、情報の新鮮度を高める。新しく閲覧者の統計分析を導入、活かした編集を目指す。会員専用ページと双方向コミュニケーションの活用。
- (3) 会員向けメールマガジン「国分寺稲門会便り」：原則隔月配信、直近の情報伝達に努める。
ホームページ同様に双方向コミュニケーションの促進。なおFacebookは配信準備済みも運用面を更に詰めることとした。